

「飯田市平和祈念館を考える会」ニュース

No 2 2023.3.25

代表：唐沢慶治 連絡先：0265 - 26 - 9204

学習会① 久保田 昇さん 胡桃澤正邦さんとの出会いを熱く語る！

講演 『胡桃澤正邦さんとの出会い・平和祈念館』

講師 久保田 昇さん(飯田市平和資料収集委員)

3月12日午後1時半より、飯田市鼎公民館において、久保田昇さんが胡桃澤正邦さんとの出会いについてエピソードを交えて熱く語りました。久保田さんは、胡桃澤さんの息子を5年～6年生と担任し、中学へ行ってからも進路の相談を受け、思いやりをもって進学の手助けをしたことを、詳しく話されました。

しかし、胡桃澤さんが731部隊員であったことを知ったのはずっと後年のこと。1991年夏に上村の胡桃澤さん宅を訪問して、段ボール箱に保存されていた満州の731部隊から持ち帰ったメス・注射器などの医療器具や医学書、「731部隊戦友会名簿」を見せてもらい、飯伊地区初めての平和のための戦争展で展示。同時にその戦争展で胡桃澤さんに、家族にも話してこなかった「私は731部隊員だった」という体験を証言してもらいました。「私の解剖記録は300体。……人間にはできません。」そして後日、胡桃澤さんから「平和のために使ってください」と医療器具などを託され、平和祈念館のために飯田市に寄付しました。

久保田さんは、「飯田市や市教委は30年以上にわたって、平和のための戦争展の後援・共催をし、731関係の資料の展示・説明にも協力的だったのに、なぜ昨年5月の平和祈念館オープン直前に突然変わったのか、私には理解できません。……戦争での加害の具体的な実例が731部隊です。戦争の真実を訴える731のパネル展示がどうしても必要です。皆さんのお力添えをお願いします」と、平和祈念館での731部隊についての証言や説明を記したパネル展示の必要性を力強く訴えました。



平和への思いを熱く語る久保田 昇さん



80人以上が参加した学習会の様子

参加者の感想から

- ・歴史の悲惨さを後世に伝える必要があると思います。がんばって下さい。
- ・今日参加してどれ程大切な事がよくわかってきました。戦争がどれ程おそろしいものかを、子どもたちにしっかり伝えて行くことが大切だと思います。飯田市だけの問題ではなく、これからの日本のあり方にもかかわる事だと思いました。市教委の姿勢は現在の政府にソントクしているのでしょうか。戦争

へ向かっていくのではないかと恐ろしさまで感じます。

・久保田さんの時系列のお話は、わかりやすかったです。胡桃澤正邦さんが命がけで持ち帰った、医療器具は、2004.5.22.の中日新聞に「貸し出しがいい」と大学教授の方が言われていますが、本物はやらない方がいいと思います。中国や全国でも、貸し出しを望む声があると思いますが、レプリカなどで対応継承していく方がいいかと思えます。できれば、今後の学習会は平和祈念館でやって頂けると良いと思います。(後略)

・講演は資料もありわかりやすかった。教委の姿勢(後退・転換)は、大問題。議会でもとりあげてもらいたい。そのためには、学習・署名で、市民の声を広げたい。考える会のメンバーの皆さん、ご苦労様です。私も入会したいと思います。

・戦争については「被害のみでなく加害についても正しく伝えなくてはならない」言いますが、勝っても負けても加害と被害の両面があるのは、あたりまえのことで。ただ、今までのこともあり、「加害」を訴えると、アレルギー反応が起きてしまうのも事実。前回の証言をお聞きすると、自国民に対しても非人道的なことをしており、「戦争は最大の人権侵害、そして、最大の被害者は子ども」ということを、あらためて思えます。このことを強く訴えて、反発する人々を巻き込んでいく知恵を出し合って、上手にやっていけたらよいと思いました。(後略)

・飯田市教委の姿勢があまりにひどい。戦争に対する思い(スタンス)が、疑わしい。子どもたちに戦争をどう伝えていくつもりなのか。教育を担当する教育委員会の姿勢??? 恥ずかしくないのか。この度の対応の変化のきっかけになったのは何だったのか!? これまで「平和のための戦争展」を共催してきた、これまで教委で努めてきた人・教育長の話をお聞いたらどうでしょうか。

・胡桃澤正邦さんの具体的なお話がきけて良かった。最後に大阪から見た方の話はとても良かった。市は行政の末端ですから、独立した施設として作ったほうが良いのではと思う。

・久保田さんの今までの平和活動の取り組みがよくわかった。なんとか戦争の悲惨さがわかり、平和憲法の大切さを考える祈念館にしてもらいたい。

・久保田先生のご講演ありがとうございました。(中略)久保田先生と市教委と対話の場が、まだ構築されていないことがわかりました。是非対話の場をつくっていくことが切に求められていると思います。今後も学習会に参加させてください。

・飯伊で長年戦争展の活動を牽引してこられた久保田先生の平和をつくる強い思いを迫力ある講演をお聞きして、平和をつくる私たちのとりくみを強めることが強く鼓舞された思いです。ガーンと頭をなぐられたような思いです。吉澤さんの報告で、今問題の焦点となっていることがクリアになりました。

「戦争責任」を踏まえて、戦争の真実を隠蔽する市教委の姿勢を改めさせるように、平和を希求するとりくみを強める市民運動を展開することが必要だと痛感しました。

※ 飯田市教育委員会「平和祈念館展示・活用検討委員会」第2回 3月28日(火)午後7時から開催
第1回は、報道機関にも初めの一部以外は公開されませんでした。

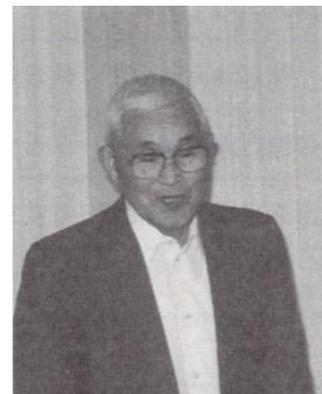
平和祈念館を考える会 学習会②

日時：4月16日(日)午後1:30~4:00

会場：飯田市公民館2階 多目的ホール
(丘の上結いスクエア)

テーマ：胡桃澤正邦さん証言録画(DVD)の視聴
「私は731部隊員だった」(1991年8月)

資料代：300円



今後の運動の方向についても意見交換します